

警告

指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

故障や異常のまま使用しない



万一、水がかかった・煙が出る・異臭がするなどが起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因になります。

禁止

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

禁止

コードを破損しない



断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

禁止

取り付けかた

準備

設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

お願い

故障の原因になりますので、以下のような場所に取り付けしないでください。

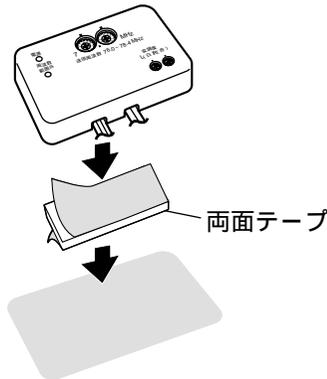
直射日光のあたるところ

水がかかるところ、足でふまれたり・蹴られたりする場所

エアコンの吹き出し口付近や発熱する物の付近

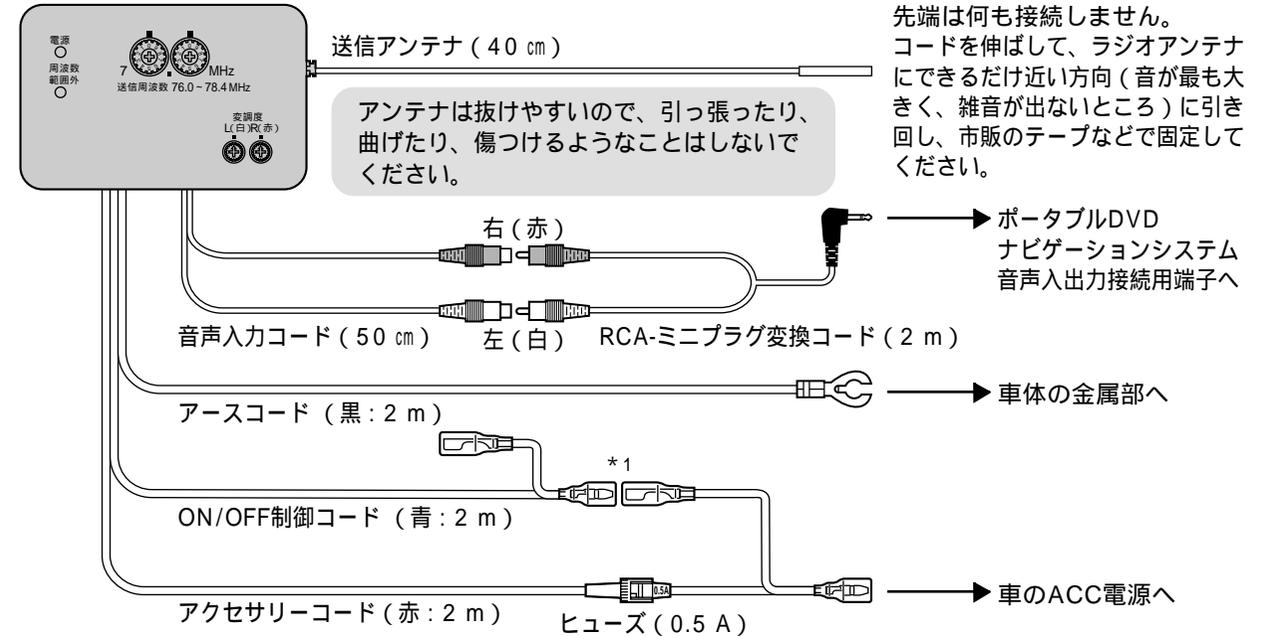
お知らせ

カーステレオ（FMラジオ）までの実用到達距離は、約3 mです。



確実に密着するように、強く押しつけてください。

接続のしかた



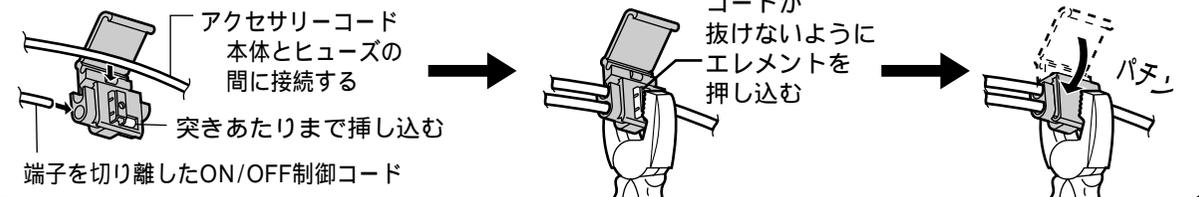
先端は何も接続しません。コードを伸ばして、ラジオアンテナにできるだけ近い方向（音が最も大きく、雑音が出ないところ）に引き回し、市販のテープなどで固定してください。

アンテナは抜けやすいので、引っ張ったり、曲げたり、傷つけるようなことはしないでください。

お願い

本機のコードとテレビアンテナのコードは、できるだけ離してください。

*1 圧着式コネクタを使って接続する場合は...



使いかた

- 1 本機の送信周波数を調整する。
- 2 ナビゲーションをテレビに切り替える。
- 3 カーステレオ（FMラジオ）の周波数を、送信周波数に合わせる。

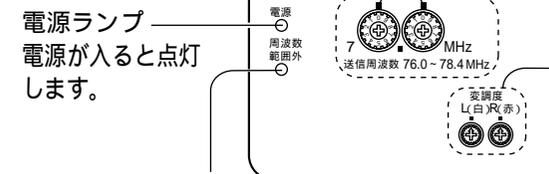
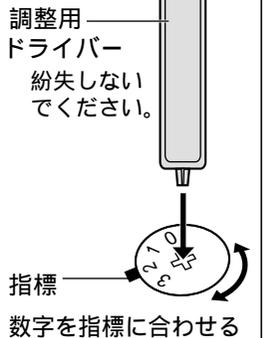
テレビの音声は車載のスピーカーから出力されます。

送信周波数の調整方法

76.0 MHz ~ 78.4 MHz の範囲内でFMラジオ放送と混信しない周波数に合わせてください。

お知らせ

UHFチャンネル(13 ~ 62チャンネル)に妨害が入るときは、周波数を変更してください。



周波数範囲外ランプ
送信周波数が76.0 ~ 78.4 MHz以外のときに点灯します。周波数を変更してください。

通常、変調度の調整は必要ありません。

極端に音が小さい/大きい/歪んで聴こえる場合は、調整してください。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。左右のバランスをとるため、LとRは同じ位置に合わせてください。